

地震保険、最近の動向を中心にした一考察

(社) 日本損害保険協会 竹 井 直 樹

I. はじめに

II. 問題意識

1. 地震への備えに関する最近の状況

- ・ 1995 年の阪神淡路大震災以降、この 10 年の国民の地震に関する関心は高レベルを維持
- ・ 国などによる情報提供活動や啓発活動が活発化し、地震による被害拡大を抑止する減災の取組みが進展

2. 地震保険をめぐる動き

- ・ 地震保険制度は発足して 40 年を経過したが、商品改善や料率引下げへのニーズは依然根強い
- ・ 割引制度への期待
- ・ 一方、行政改革の一環として制度見直し論議も始まる予定

III. 地震保険の歩み

1. 公的保険としての社会的な要請

- ・ 公的保険として、国と損保協会を中心にして普及促進のための努力が続けられる
- ・ 商品改善の歴史

2. 国と損害保険会社のキャパシティー

- ・ 責任準備金残高

IV. 地震保険の仕組みに関する実務家から見た特徴

1. 何故、公的保険か

- ・ 目的と担保内容
- ・ 再保険制度
- ・ 料率算出の考え方

2. 法律制度保険

V. 最近の地震保険をめぐる動向

1. 料率の見直し

- ・ 基準料率改定の動き
- ・ 国の予測とのリンク

2. 保険料控除制度の創設

- ・ 意義
- ・ 公的保険との関係

3. 地震保険特別会計の見直し

- ・ 国の役割や再保険制度の見直し

VI. まとめ

1. 地震保険制度のミッションは何か

- ・ 地震リスクの特異性
- ・ 国と民間保険会社の役割分担

2. 地震保険の将来展望

- ・ 減災へのインセンティブ
- ・ 自助、共助、公助のバランス